

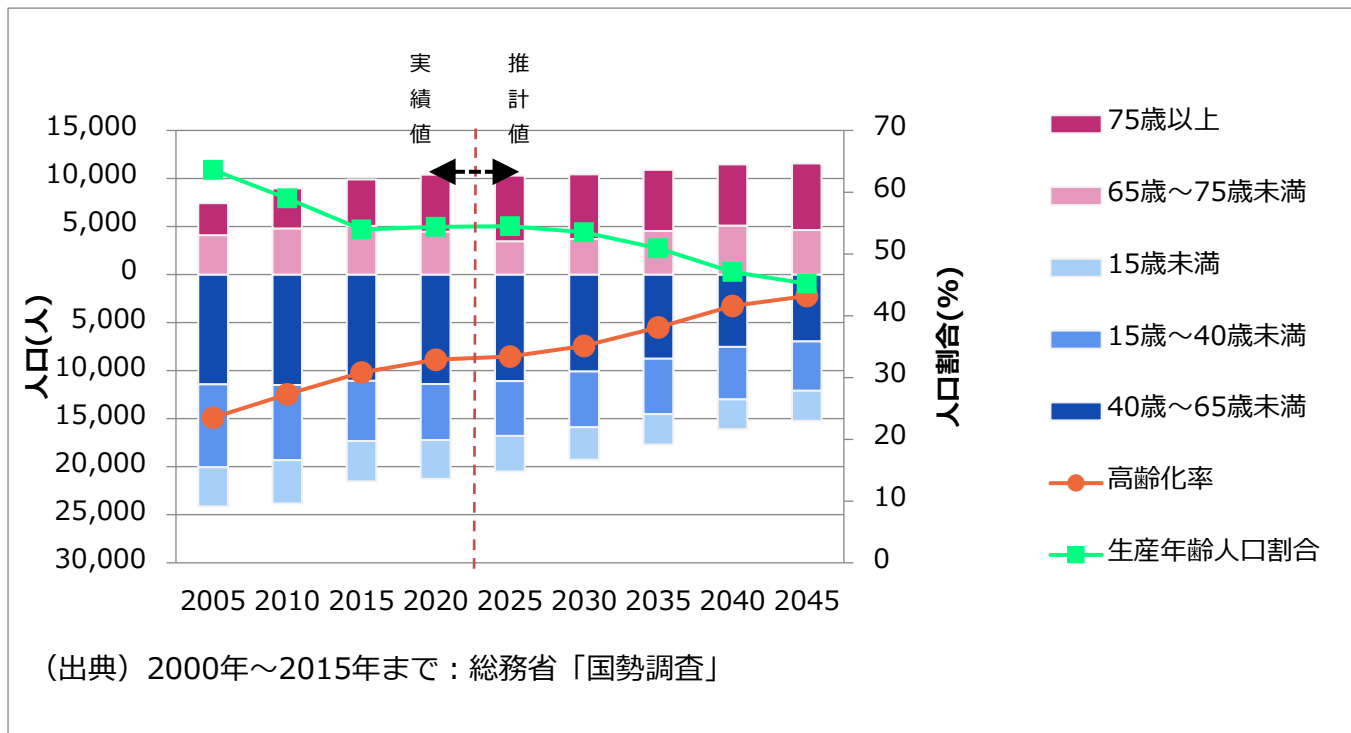
地域包括ケア見える化システムを活用した

葉山町の介護保険事業について

令和3年3月23日

葉山町福祉課

# 1 葉山町の人口の推移



葉山町の高齢化率の降順		
(2015年10月時点)		
神奈川県内	12番目	33保険者
全国	810番目	1,565保険者
(2025年の推計値)		
神奈川県内	13番目	33保険者
全国	980番目	1,512保険者
(2040年の推計値)		
神奈川県内	11番目	33保険者
全国	804番目	1,512保険者

	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
人口 (人)	31,531	32,766	32,096	31,672	30,786	29,681	28,559	27,576	26,756
15歳未満 (人)	4,039	4,476	4,192	4,044	3,718	3,390	3,152	3,103	3,108
15歳～40歳未満 (人)	8,652	7,844	6,272	5,843	5,689	5,783	5,770	5,461	5,139
40歳～65歳未満 (人)	11,417	11,494	11,066	11,377	11,097	10,092	8,753	7,534	6,961
65歳～75歳未満 (人)	4,102	4,790	5,057	4,461	3,484	3,693	4,529	5,090	4,638
75歳以上 (人)	3,321	4,159	4,833	5,947	6,798	6,723	6,355	6,388	6,910
生産年齢人口 (人)	20,069	19,338	17,338	17,220	16,786	15,875	14,523	12,995	12,100
高齢者人口 (人)	7,423	8,949	9,890	10,408	10,282	10,416	10,884	11,478	11,548
生産年齢人口割合 (%)	63.6	59.0	54.0	54.4	54.5	53.5	50.9	47.1	45.2
高齢化率 (%)	23.5	27.3	30.8	32.9	33.4	35.1	38.1	41.6	43.2
高齢化率(神奈川県) (%)	16.8	20.1	23.6	25.8	26.7	28.3	30.7	33.6	35.2
高齢化率(全国) (%)	20.1	22.8	26.3	28.9	30.0	31.2	32.8	35.3	36.8

(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

葉山町の総人口は 2010 年の 32,766 人をピークに緩やかに減少していき、2045 年には 26,756 人になる見込みです。

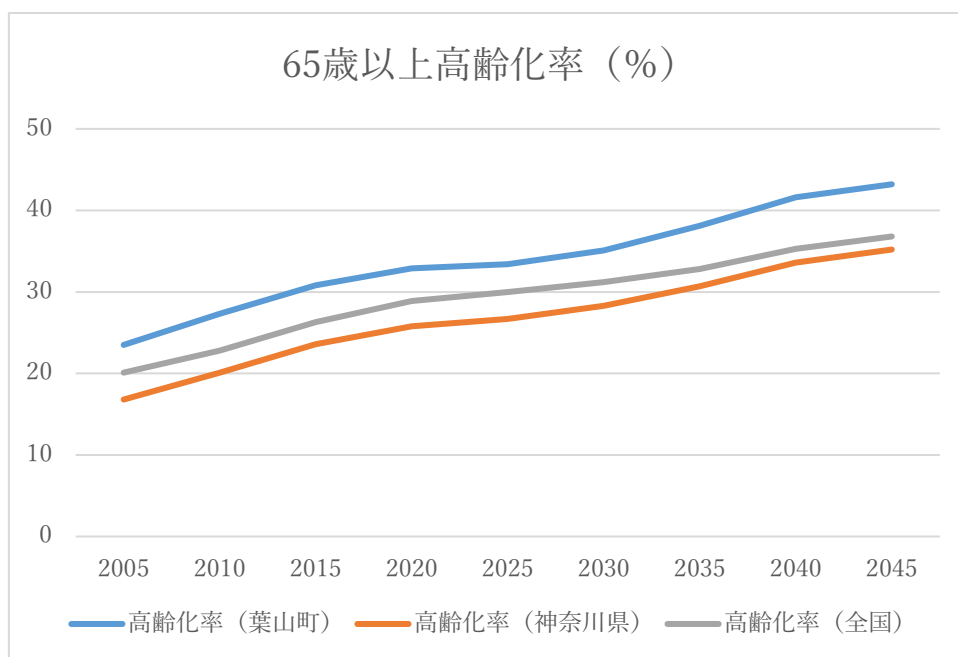
65 歳以上高齢者人口は、2020 年 10,408 人から 2025 年 10,282 人と一時減少しますが、その後は上昇し続け 2045 年には 11,548 人となり、2005 年の 7,423 人に対し 1.6 倍の増加となる見込みです。

65 歳以上 75 歳未満の前期高齢者人口は、2015 年の 5,057 人をピークにその後減少していきませんが、2035 年から上昇に転じる見込みです。

75 歳以上後期高齢者人口は、2025 年の 6,798 人をピークにその後減少していきませんが、2040 年から上昇に転じる見込みです。

15 歳以上 65 歳未満の生産年齢人口は、2005 年の 63.6%から減少し続け、2045 年には 45.2%まで下がる見込みです。

一方、65 歳以上の高齢化率は 2005 年の 23.5%から 2045 年には 43.2%まで上昇していく見込みです。

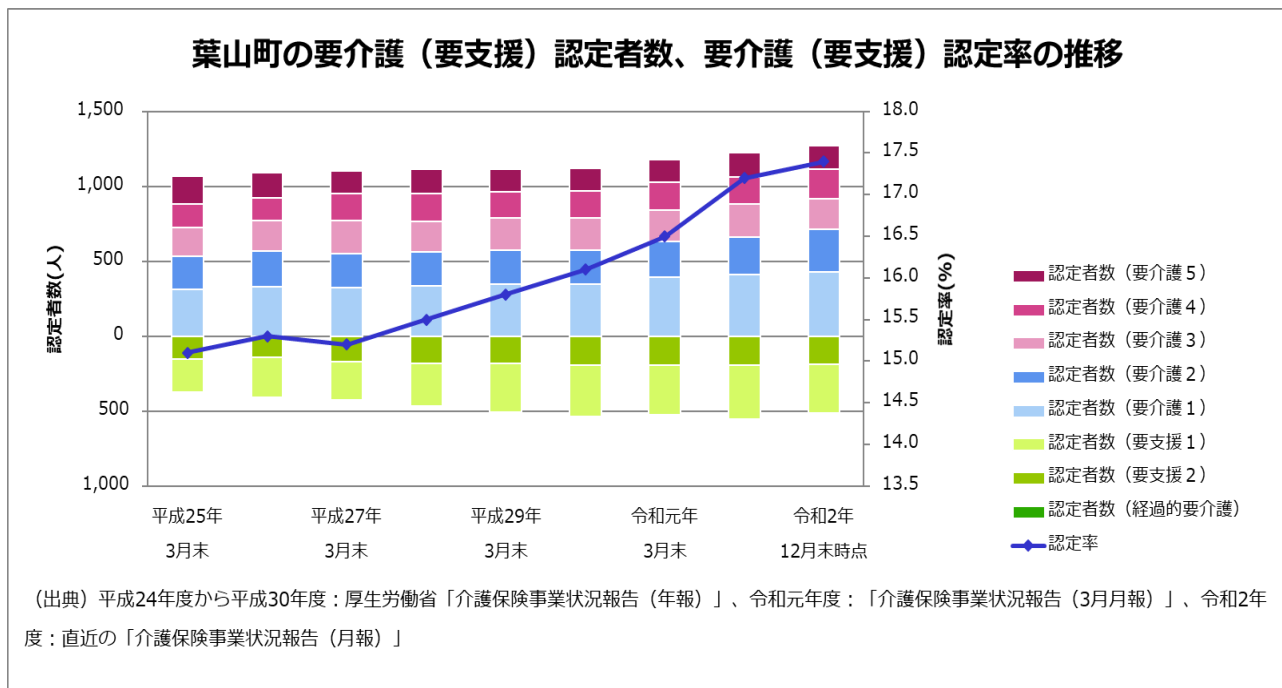


#### 【葉山町の課題】

高齢者数は増加し高齢化率も増加し続けていくのに対し、生産年齢人口は減少し続けていく見込みとなっています。

今後、増加していく介護需要に対し、介護を支える人材不足が起きる可能性があります。

## 2 葉山町の要介護（要支援）認定者数の推移



	平成25年 3月末	平成26年 3月末	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末時点	令和2年 12月末時点
認定者数 (人)	1,446	1,501	1,529	1,578	1,622	1,653	1,702	1,777	1,786
認定者数（要支援1） (人)	220	268	255	283	325	339	332	359	323
認定者数（要支援2） (人)	155	139	169	182	181	196	191	192	190
認定者数（経過的要介護） (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定者数（要介護1） (人)	312	331	323	337	347	347	394	413	426
認定者数（要介護2） (人)	220	240	230	228	225	228	240	251	285
認定者数（要介護3） (人)	191	199	221	199	216	214	209	219	205
認定者数（要介護4） (人)	161	155	177	185	175	181	185	179	200
認定者数（要介護5） (人)	187	169	154	164	153	148	151	164	157
認定率 (%)	15.1	15.3	15.2	15.5	15.8	16.1	16.5	17.2	17.4
認定率（神奈川県） (%)	15.7	15.9	16.2	16.3	16.5	16.8	17.2	17.6	17.9
認定率（全国） (%)	17.6	17.8	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3	18.5	18.7

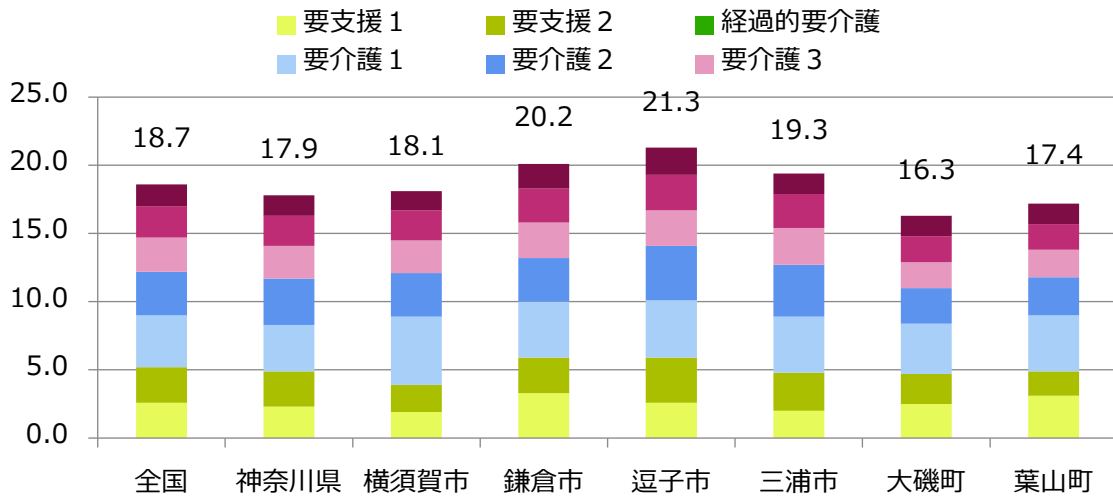
(出典) 平成24年度から平成30年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和元年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和2年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

葉山町の認定率の降順 (平成2年12月末時点)		
神奈川県内	11番目	33保険者
全国	934番目	1,571保険者

### 【葉山町の課題】

高齢化率は全国、神奈川県内でも高いものの、要支援・要介護認定率は低くなっています。  
 しかしながら、平成25年から平成27年まではほぼ横ばいであったものが、平成27年に  
 降上昇し続けています。

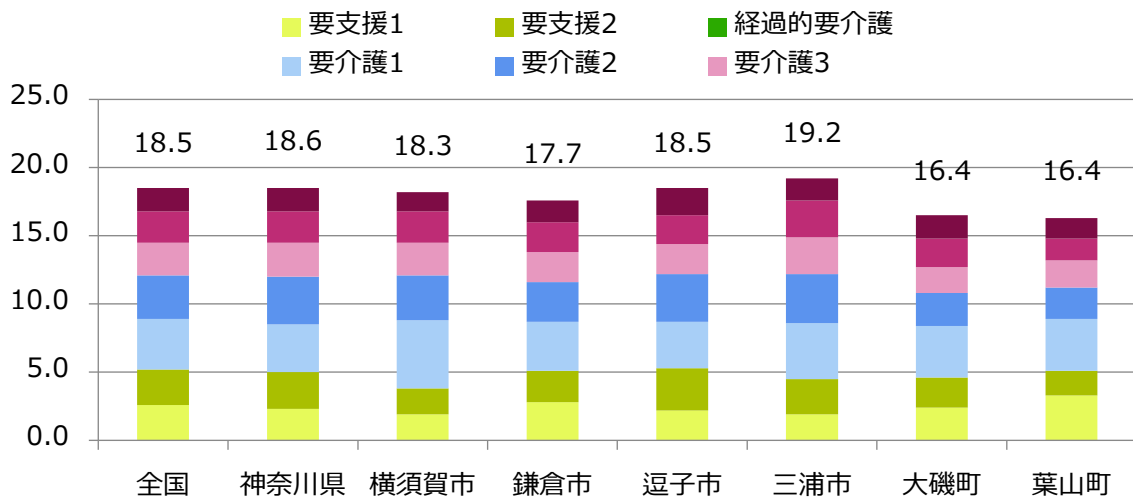
## 認定率（要介護度別）（令和2年(2020年)）



(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元,2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

## 調整済み認定率（要介護度別）（令和元年(2019年)）



(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳」

### 【葉山町の現状】

要介護（要支援）認定率は、全国、近隣市と比較し低くなっており、要介護（要支援）認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者（65歳以上高齢者）の性・年齢構成」の影響を除外した「調整済み認定率」でも低くなっています。

(認定率(要介護度別) 令和2年(2020年))

	全国	神奈川県	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	大磯町	葉山町
要支援1	2.6	2.3	1.9	3.3	2.6	2.0	2.5	3.1
要支援2	2.6	2.6	2.0	2.6	3.3	2.8	2.2	1.8
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	3.8	3.4	5.0	4.1	4.2	4.1	3.7	4.1
要介護2	3.2	3.4	3.2	3.2	4.0	3.8	2.6	2.8
要介護3	2.5	2.4	2.4	2.6	2.6	2.7	1.9	2.0
要介護4	2.3	2.2	2.2	2.5	2.6	2.5	1.9	1.9
要介護5	1.6	1.5	1.4	1.8	2.0	1.5	1.5	1.5
合計認定率	18.7	17.9	18.1	20.2	21.3	19.3	16.3	17.4

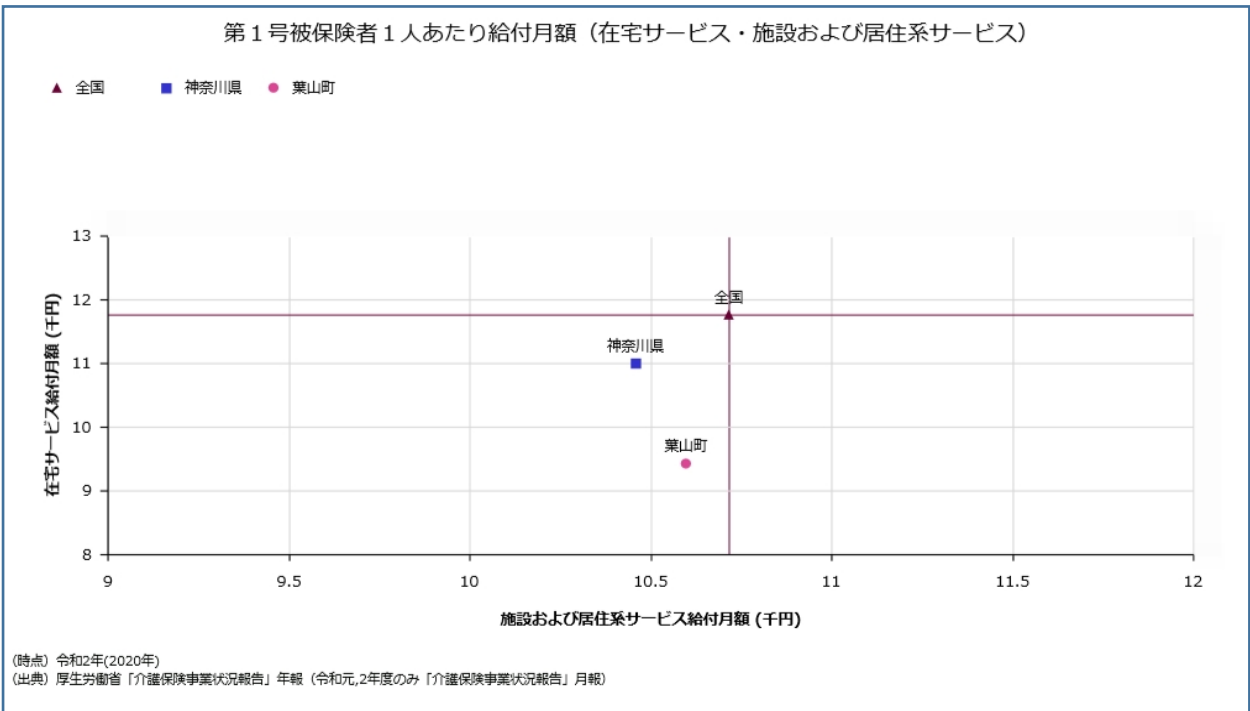
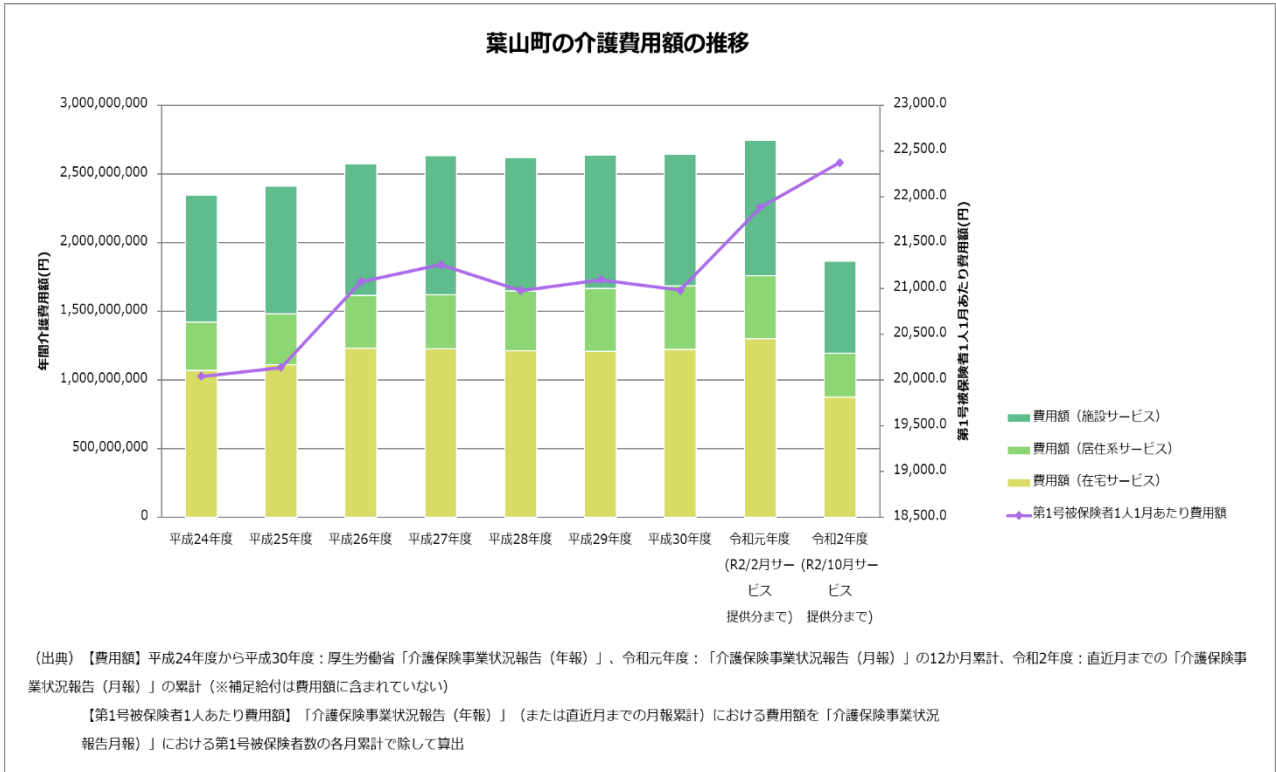
(新規要支援・要介護認定者の年齢階級別分布(平成30年(2018年))

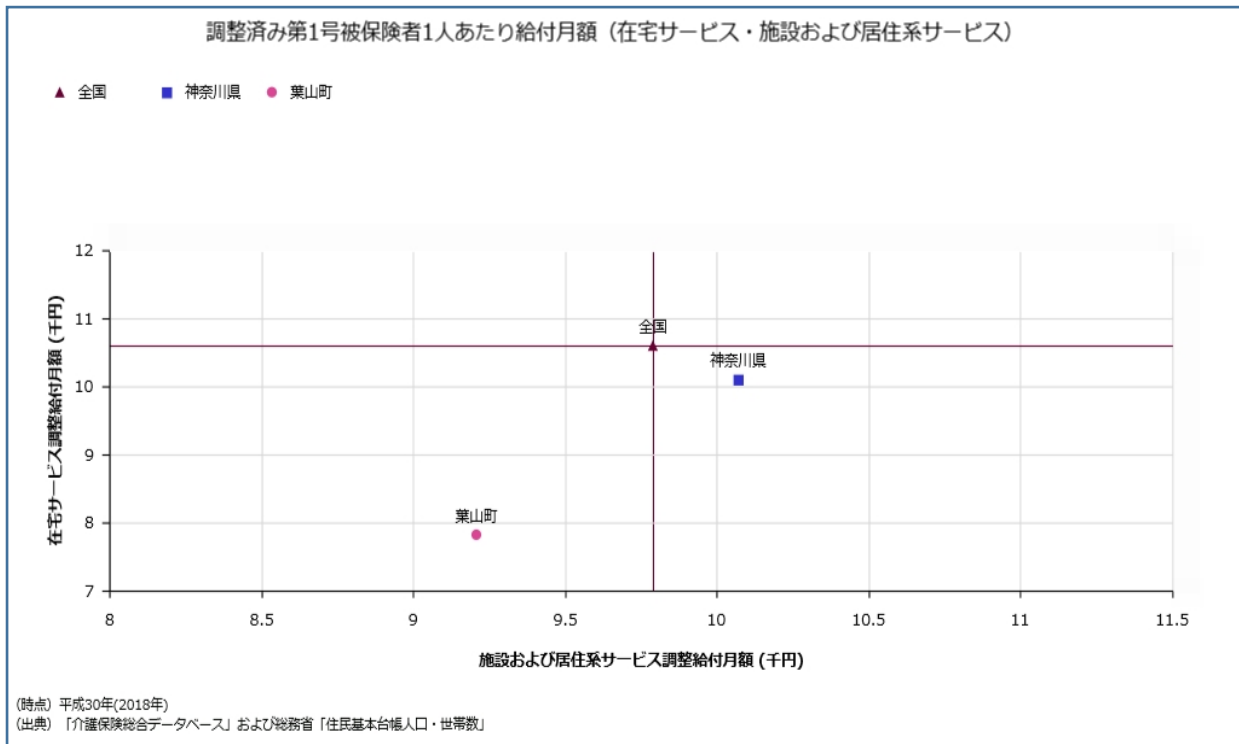
	全国	神奈川県	葉山町
65-69歳	7.9	8.2	7.0
70-74歳	11.8	13.1	10.3
75-79歳	20.1	22.2	13.3
80-84歳	27.2	27.6	30.0
85-89歳	22.2	19.9	24.8
90歳以上	10.9	8.9	14.5

【葉山町の課題】

80歳から要支援・要介護認定を受ける方が多くなることから、80歳までの時期に介護予防の取り組みに着手する必要があります。

### 3 介護給付費





**【葉山町の課題】**

1人あたり給付月額を見ると、年々上昇しています。

サービス別で見ると施設および居住系サービスの1人あたり給付月額が神奈川県平均より高めです。

しかしながら、給付費に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者（65歳以上高齢者）の性・年齢構成」と「地域区分単価」の影響を除外した調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額を見ると、在宅サービス、施設および居住系サービスともに1人あたり給付月額が全国平均及び神奈川県平均を下回っています。

葉山町の要支援・要介護認定率は比較的軽度の方が多いので、在宅サービスの給付費が低くなりますが、介護度が高くなった際に、在宅サービスより施設及び居住系サービスを利用している可能性があります。

要介護度が重くなった際の在宅サービスの支援が今後求められます。



#### 4 葉山町介護保険特別会計決算額

(

	介護保険特別会計支出総額	保険給付費	備考
平成12年度 (2000年度)	985,425 千円	867,577 千円	介護保険制度開始
平成18年度 (2006年度)	1,805,821 千円	1,690,030 千円	要支援制度創設
令和元年度 (2019年度)	2,900,219 千円	2,578,555 千円	

介護保険制度開始から19年が経過した令和元年度時点で、保険給付費は約3倍にまで増加しています。

#### 介護保険料基準額（月額換算）

	第1期 (2000～2002年度)	第7期 (2018～2020年度)	1期と7期の 比較
神奈川県平均	2,975円	5,737円	1.9倍
横須賀市	2,900円	5,500円	1.9倍
鎌倉市	2,660円	5,464円	2.1倍
逗子市	2,630円	5,810円	2.2倍
三浦市	2,713円	5,716円	2.1倍
大磯町	2,850円	5,700円	2.0倍
葉山町	2,707円	4,800円	1.8倍

#### 第8期（2021～2022年度）

#### 葉山町介護保険料基準額（月額換算）

4,900円

葉山町は神奈川県平均、近隣市町村に比べ低い介護保険料となっていますが、介護保険制度開始時に比べ1.8倍の増額となっています。（神奈川県平均及び近隣自治体、類似自治体を比較し、葉山町の介護保険料の伸びは低いものになっています。）

## 5 地域包括ケア見える化システムを用いた地域分析（まとめ）

### （１）現状と課題

今後団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、高齢者数は増加し続けていくことから、要支援・要介護認定を受ける方々も増加する可能性があります。

葉山町の特徴として比較的元気な高齢者が多く、現在は要支援・要介護認定率も低い状況ですが、80歳を分岐点として要支援・要介護認定を受ける方々が増加しています。

そこで、健康なうちから介護予防に取り組むこと、さらに介護が必要な状態になった際の自立支援型ケアマネジメントの推進が求められます。

### （２）第7期における具体的取組

#### ①介護予防事業（国モデル事業）

葉山町では、貯筋運動による住民主体の通いの場事業を平成28年度から開始し、令和3年3月時点で町内26団体（28会場）にまで広がっています。

今後とも、住民主体の介護予防事業としての貯筋運動を全町的に広げ、介護予防の充実を図ってまいります。

（第7期 葉山町高齢者福祉計画 介護保険事業計画（平成30年3月策定）  
貯筋運動（地域づくりによる介護予防推進支援事業）

#### 【実績値】

実績値	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (実績値)
実施団体	—	3	10

#### 【目標値】

目標値	平成30年度 (目標値)	令和元年度 (目標値)	令和2年度 (目標値)
実施団体	15	20	25

平成30年度実績	18団体
令和2年度実績	26団体

令和2年度時点で、目標を上回る実績となっており、今後も町内全域で広げる必要があります。

②自立支援型ケアマネジメントの推進（国モデル事業）

比較的軽度な状態の方々（要支援1・2、要介護1）のケアプランに対し、理学療法士・作業療法士等の専門職が加わり介護支援専門員や関わる介護保険サービス事業者に助言を行うことで、自立支援・重度化防止への対応を図っています。

【実績値】

実績値	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (実績値)
対象ケアプラン数	—	—	12

【目標値】

目標値	平成30年度 (目標値)	令和元年度 (目標値)	令和2年度 (目標値)
対象ケアプラン数	24	24	24

平成30年度実績	24
令和2年度実績	16

毎月1回、2ケースのケアプランを取り上げ検討を加えることで自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントを推進しています。

（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催回数が減少しています。）

③ケアマネジメント適正化推進事業

逗子市・葉山地が行政・地域包括支援センター・介護保険事業者が協働し、適切なケアマネジメントの推進を図っています。

令和2年度実績

令和2年10月23日	ケアマネジメント適正化研修
令和2年11月25日	アセスメント力向上研修 I
令和2年12月23日	ケアマネジメント適正化研修 II

今後、特に介護度が重度になった方への在宅支援に向けたケアマネジメントの推進を行っていくことが課題となっています。

（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催回数が減少しています。）

### (3) 評価結果

要支援・要介護認定率は上昇していますが、全国平均、神奈川県平均、近隣市町村、類似市町村と比較しても低い状況であります。

貯筋運動による通いの場が町内全域に広がることでの介護予防の浸透、自立支援に向けたケアマネジメントの推進を図っており、介護保険事業は適正に行われています。

介護保険料も低く設定できており、町民負担の軽減も行われています。

### (4) 課題と対応策

しかしながら、今後、75歳以上高齢者を中心に高齢者数は増加していく見込みであり、葉山町の場合、団塊の世代が80歳になる10年後の2030年(令和12年)に介護保険給付費も増加し続け、介護保険料も上がり続ける可能性があります。

そこで、葉山町全体で介護予防を意識し取り組み事で、介護保険料の上昇を抑え、第7期葉山町 高齢者福祉計画 介護保険事業計画の基本理念「お互いに支え合い、いきいきと健康に過ごせるまち、はやま」の実現を図ることが求められています。